

賛助会員会報

第147号

令和5年(2023年)7月14日

発行者

公益財団法人長野県長寿社会開発センター
木曾地区賛助会 会長 田代 幸子

〒397-8550

木曾郡 木曾町福島 2757-1

木曾保健福祉事務福祉課内

電話 0264-25-2218 FAX 0264-24-2350

Eメール kiso@nicesenior.or.jp

会員相互の情報共有を大切にしながら楽しみましょう

木曾地区賛助会長 田代 幸子

会員の皆様には日ごろ賛助会活動への参加・ご協力をいただき、感謝申し上げます。

任期もあと1年となりましたが、新年度も会員の皆様のご協力のもと活動してまいりたいと思います。

6月1日(木)に総会を無事終え、今後はスポーツ交流会・木曾地域シニア作品展・講演会を開催する予定です。それぞれの行事を賑やかな活動にしたいと思いますので、多くの皆様のご参加をお願いいたします。

話は変わりますが、今年度も卒業生(第41回生)11名全員が賛助会員として登録いただきました。早速「イレブン」として新たな活動を計画しているようです。とても頼もしい限りです。

賛助会は、グループ活動が主になります。楽しみながらの活動が一番です。会員どうし情報を共有しながら、よりよい活動ができるといいですね。各々のグループの活動の更なる発展を願っております。

なお、県本部であります「長野県長寿社会開発センター」は、従前より地区交流活動を可能な限り進めていきたいとのことでしたが、今年度はぜひ実現していきたいものです。各支部の活動の様子は、情報誌「りらく」や県長寿社会開発センターのホームページをご覧ください。

丁度執筆中の今は、梅雨に突入して雨降りが続いています。じめじめした日が続きますが、自然の恵みとして潤う時期を楽しみたいものです。もちろん災害のない梅雨であることを祈りつつですが・・・

簡単ですが、新年度にあたってのご挨拶といたします。



シニア大学木曾学部入学式

第43回生 18名が入学しました

5月9日（火）に令和5年度シニア大学木曾学部の入学式・始業式が行われました。

2月から始まった募集に際しましては、賛助会の皆様やシニア大学生の皆様の皆様のご支援をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

式の中では、大桑村在住で入学生の川内^{かわうちほこ}智保子さんが思いのこもった代表挨拶をされ、在校生を代表して栗林^{くりばやし} 勝幸^{まさゆき}さんが歓迎の言葉を述べられました。

川内さんは、宮崎県のご出身で大桑村の地域おこし協力隊を務め、3年前に大桑村に移住されました。

「木曾で生まれ育った方々と知り合いたいという気持ちから入学を決めた。いろいろ教えていただきたい」と挨拶されました。



西垣 明子 学部長 式辞

木曾谷の木々の緑もまぶしい、風薫るさわやかな5月、本日ここに令和5年度「長野県シニア大学木曾学部」の入学式および始業式を挙行する運びとなり、今年も新入生の皆さんをここにお迎えできましたことを、大変うれしく思います。

また、郡内各町村長様をはじめご来賓の皆様方には、御多用の時期にもかかわらず御臨席を賜り、心より感謝を申し上げます。日頃より、木曾学部ならびに木曾支部の運営に、深いご理解と多大なご協力をいただきまして、厚く御礼を申し上げます。

さて、今年度シニア大学木曾学部へ入学されました18名の新入生の皆様、ご入学まことにおめでとうございます。新たな出会いや学びの場を求めて入学された皆様の熱意と行動力に対し、心より敬意を表する次第です。

シニア大学木曾学部は、学生の皆さんが安心して受講できるよう、五類移行にはなりましたが、新型コロナウイルス対応にも留意しながら講座運営を進めていきたいと考えています。具体的には、換気や人との距離の確保には引き続き注意を払っていただくなどして、楽しい大学生活をお送りください。

また、2学年になる第42回生18名の皆様方には、進級おめでとうございます。今、皆さんは2年目のシニア大学生活に向けて決意も新たにしておられることと思います。今年も新たな分野に挑戦し、また今までの学習をより深められることを通して、悔いのない有意義な1年となることを祈っております。

本県では、昭和53年に「老人大学」が設置され、木曾学部は、その3年後の昭和56年に開校しました。そして、平成20年からは「シニア大学」と名称を変更し、現在に至っております。

これまでに木曾学部の卒業生は、この3月に卒業した第41回生11名を含めて2,453名にのぼり、卒業後も木曾郡下各地において、地域の中での役割を見つけてご活躍しておられます。



シニア大学の目的は、皆さんが「新しい知識を身につけながら仲間づくりの輪を広げ、地域に役立つながら生きがいのある充実した生活を創り出す」ことです。この目的を達成するために木曾学部では、郷土の歴史・自然をはじめ、文学・芸術・国際政治・天文・科学・食文化等々、多様なカリキュラム編成に努めております。さらに社会参加に向けて自分達で考える参加型の講座や地域活動、趣味・特技を広げる趣味・選択講座や、この合同庁舎を飛び出しての移動講座などもあり、これらの特色ある内容は、県下でも高く評価されているところです。

また、この学部では、学友同志「お互いに学び合い、高め合う」という伝統が、先輩の皆様によって築かれ、脈々と受け継がれてまいりました。このすばらしい伝統をさらに深めていただき、今後の人生を一層充実させていくための、新たな学友との出会いや生きがいを得ていただきたいと思います。

学生生活は2年間を通しての長丁場となります。健康には十分に留意され、全員の皆様が全課程を履修し、晴れてご卒業されますことを心より願っております。

結びに、本学部ならびに支部運営のため、格別の御協力を頂いております各町村理事者の皆様をはじめ、温かいご支援を頂いております関係各位に重ねて御礼申し上げますとともに、本日ご参集の皆様方のますますのご健勝、ご多幸を祈念申し上げ、式辞といたします。

木曾地区賛助会総会 開催



6月1日(木) 14:00～木曾合同庁舎講堂において、木曾地区賛助会総会が開催されました。

当日は賛助会役員、事務局を含め、31名の会員の皆さんが参加されました。議長は、昨年度シニア大学を卒業された篠原 長平さん(「イレブン」のグループ長)が務められ、令和5年度(2023年度)の事業計画をはじめ、予算案、新役員に係る議事は全て承認されました。

議事に引き続き、賛助会活動についての意見交換が行われました。

「各グループがどのような活動をされているのか知りたい」という質問が出され、グループ長さんが丁寧に説明をしてくださりました。参加者が少なかったこと、総会の開始時間を午前中にしてほしいなどの感想も寄せられましたので、今後の幹事会で検討し、改善に努めていきたいと思っております。



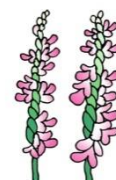
木曾地区賛助会役員名簿

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	田代 幸子	幹 事	清水 千鶴
副 会 長	田中たつ子	幹 事	鈴木 明子
副 会 長	橋本 和子	幹 事 (会報)	古田 亮子
幹 事(幹事長)	秋山あや子	幹 事	上田 直子
幹 事 (会計)	笹川 重子	監 事	田ノ上國雄
幹 事 (会報)	横道 澄子	監 事	木戸 稔

町村名	NO	賛助会員活動グループ長	町 村 委 員
木曾町	49	第36期生書道教室 中島 卯女子	(福島)保健福祉課介護支援係長 藤原 崇弘
	53	美男・美女・美花 戸田 平 八	(日義) 福祉係長 奥原 洋一
	54	四つ葉のクローバー 田中たつ子	(開田) 住民福祉係長 田口 紀明
			(三岳) 住民福祉係長 正又あけみ
上松町	55	4ピースプラス 清水 千鶴	地域包括支援センター 横内あおい
南木曾町			住民課 福祉係 我山 広華
木祖村	59	イレブン 篠原 長平	住民福祉課 下條 久佳
王滝村			福祉健康課 福祉係長 塚本 友幸
大桑村	57	みんなでおこびる 生路 光子	福祉健康課 金子 智美
	58	ひまわりの会 鈴木 明子	
郡外(塩尻市)	52	ボランティア・ブラボー 松本 弘幸	
事務局	28	水無月の会 奥原 由孝	

公益財団法人 長野県長寿社会開発センター木曾支部

事務局	支 部 長	千村 直成	木曾保健福祉事務所福祉課 課 長 社会係長 社会係主事
	事務局 長		
	事務局次長	藤森美恵子	
	事務局主幹	犬竹 輝	
	社会活動推進員	奥原 由孝	
	シニア活動推進コーディネーター	湯川 早苗	



第28回木曾地域シニア作品展作品募集!

個人で1部門3点以内、何部門でも出品できます

- 1 開催期日 令和5年11月18日(土)19日(日)
- 2 開催場所 「上松町ひのきの里総合文化センター」
- 3 展示部門 工芸品、絵画、写真、書、俳句・短歌、手芸、盆栽、その他
- 4 募集期間 令和5年8月21日(月)～10月6日(金)(予定)(出品カード提出)
- 5 提出先 賛助会員は各グループ長(事務局)へ提出。一般の方は「町村役場福祉係」または「事務局」へ提出してください。



(グループ長は、出品一覧表を10月13日(金)までに事務局か町村役場福祉係へ)

- 6 作品の搬入 11月17日(金)午後3:00～4:30
搬出 11月20日(月)午前9:00～9:30

※作品の搬入・搬出は、原則として出品者個人が行います。個人では難しい場合は各町村委員(役場福祉係)または支部事務局に相談してください。

☆町村委員のみなさん	木曾町福島	保健福祉課介護支援係長	藤原 崇弘 様
	木曾町日義	福祉係長	奥原 洋一 様
	木曾町開田	住民担当係長	田口 紀明 様
	木曾町三岳	住民福祉係長	正又あけみ 様
	上松町	地域包括支援センター	横内あおい 様
	南木曾町	住民課福祉係	我山 広華 様
	木祖村	住民福祉課	下條 久佳 様
	王滝村	福祉保健課福祉係長	塚本 友幸 様
	大桑村	福祉保健課	金子 智美 様

7 その他

新型コロナウイルス感染時のリスクが高い人はマスク着用を推奨します。

木曾地区賛助会講演会のお知らせ

作品展と同時開催します!

- ☆日 時 : 令和5年11月18日(土) 13:30～15:00
- ☆会 場 : 上松町ひのきの里総合文化センター 2F 大会議室
- ☆講 師 : 特定非営利活動法人 日本チェルノブイリ連帯基金 (JCF)
横内 香苗 先生

※ 詳細については次ページのチラシをご覧ください。

公益財団法人 長野県長寿社会開発センター木曾支部

木曾地区賛助会（シニア大学木曾学部）



講演会



日時 令和 **5** 年 **11** 月 **18** 日（土）

13:30 ~ 15:00

入場無料

会場 上松町ひのきの里総合文化センター

講師 日本チェルノブイリ連帯基金（JCF）横内 香苗 氏

演題 「ロシアのウクライナ侵攻」
～ウクライナの今～

☆ 講師プロフィール ☆

～日本チェルノブイリ連帯基金の紹介～

日本チェルノブイリ連帯基金は、1986年4月26日に起こったチェルノブイリ原発事故の被災者支援をするため、1991年に設立され、今年で32年目となる。ベラルーシ、ロシア、ウクライナへ100回に渡り訪問団派遣。白血病の診断の診断と治療のために日本への医師招聘研修による専門医の育成、医療機器・医薬品の供与を行う。2004年からはイラク小児白血病支援開始。5つのプライマリーヘルスケアの設立や医療機器を支援し、避難民だけでなく現地の方の健康維持にも貢献。

2011年3月に起きた福島第一原発事故による被災地支援をいち早く開始。健診・保養・放射能測定活動測定を行う。

2022年2月に起きたロシアによるウクライナ侵攻によって国内外に避難した人々への支援を3月から開始現在に至る。

横内 香苗（よこうち かなえ）

1967年生まれ（56歳）松本市出身

2011年JCF（日本チェルノブイリ連帯基金）入社

主に福島支援担当として震災当時は福島に通い、被災者支援活動を行う。事務局にある放射能測定器を使い、食材や環境（土壌や落ち葉など）を測定する Team めとばを担当。休日は仲間やその子供たちと自然農や炭焼きを行っている。



JCFが支援をしているウクライナの子供達から、日本の皆さんにお礼を込めて絵が送られてきました。

爆撃を逃れて、母と共に国外へ避難する子供達。絵を描いているその瞬間は、戦争のトラウマから解放され、生まれ育った地に思いを寄せて、明るい色彩で画用紙いっぱい表現しています。

この絵をメイン会場の1階ホールに展示しています。

木曾地区賛助会スポーツ交流会開催

参加者募集

- 1 開催日時 令和5年10月 3日(火) 9:30~(開会式)
- 2 会 場 大桑村スポーツ公園マレットゴルフ場
- 3 競技種目 マレットゴルフ(グループでも個人でも参加できます)

※ 誰にも優勝チャンスあり!

豪華?商品も盛りだくさん。

- 4 申込期日 令和5年 8月21日(月) 厳守
- 5 申 込 先 各グループ長または支部賛助会事務局(FAX 可)
- 6 申込方法 各グループ長さんのところに申込用紙があります。

※グループに所属していない方は、電話等で事務局に直接お申込みください。
シニア大学生は、班長に連絡してください。



賛助会木曾支部事務局	電話 0264-25-2218
	FAX 0264-24-2350

2023 信州ねんりんピック

長野県シニア作品展作品募集中 参加申し込み

文化交流式典は、今年是对面で行われます

信州ねんりんピックにつきましては、今年は9月~10月の間で、交流式典やシニア作品展、囲碁将棋大会、スポーツ交流大会が行われます。交流式典に参加をご希望される方は、支部事務局までご連絡ください。

シニア作品展につきましては、以下のように従来通り一般公開をする予定です。

- ◇開催期間 令和5年9月8日(金)~10日(日) 10:00~16:00
- ◇会 場 上田市丸子文化会館セレスホール
- ◇出品者資格 長野県内在住の60歳以上のアマチュア
- ◇部 門 日本画、洋画、彫刻、手工芸、書、写真の6部門
- ◇申込期限 令和5年8月7日(月) まで
- ◇申込方法・申込先

所定の用紙に必要事項を記入し、各町村役場(住民福祉課)

または支部事務局(木曾合同庁舎木曾保健福祉事務所内)

へお申し込みください。用紙、募集案内は役場、支部事務局にあります。

- ◇作品搬入 令和5年9月1日(金) まで 各町村役場(住民福祉課)または支部事務局へ

- ◇作品の規格、出品規格等の詳細は「募集案内」をご覧ください。



2023 信州ねんりんピック

囲碁・将棋大会 スポーツ交流大会参加者募集中

◇大会日時 会場

囲碁・将棋 : 令和5年 9月9日(土) 上田市丸子公民館

スポーツ交流: 令和5年 10月7日(土) 佐久市内

ダンススポーツ グラウンド・ゴルフ ゲートボール ソフトバレーボール ペタンク
ウォークラリー 弓道 マレットゴルフ

令和5年 10月 21(日) 小諸市

ソフトテニス テニス

◇参加資格 長野県内在住の60歳以上の方(昭和39年4月1日以前に生まれた方)
なお、競技種目によっては参加条件の規定があります。

◇参加費 スポーツ交流は一人500円(資料代・保険料等)

◇申込方法・申込先

「競技別に定めた参加申込書」を支部事務局、または県本部、競技運営団体のいずれかに提出してください。

◇申込期間

囲碁・将棋: 詳細は県長寿社会開発センターホームページをご覧ください

スポーツ交流: 令和5年8月25日(金)まで



新しい賛助会活動グループの紹介です

私たちは、令和4年度シニア大学を卒業した41回生11名です。賛助会グループ名は人数にちなんで「イレブン」とし全員で参加します。

シニア大学はコロナ禍のため、1年間待機しての入学でした。待ちに待ったこともあり、様々な講座はたいへん良い勉強になりました。特に印象に残ったこととして、これからの生活を送るには、「健康第一・健康な体作り・バランスの取れた食生活・生きがい(趣味)を見つけること」が大切と、再認識しました。また、会長の勝野さんが整体師ということで、講座終了後に30~45分の時間で、自身が作られた資料をもとに、実演を交えて1年間みんなで勉強をしました。

2年生になり、昨年習ったことをもとに、実技として社会参加活動の柱を無理せず気楽に歩くことに決めました。グループ名を「てくてく」とし、活動目標は、おいし! たのし! まなび! 地域貢献! 健康促進! と決め、郡内各地でゴミ拾いボランティアをしながらおいしい郷土食を味わったり、博物館や地場産業の現場を訪ね歴史の勉強等もしたりしながら充実した取組をすすめることができました。

昨年度から今年度の具体的な活動、また予定は次の通りです。

- ・南木曾駅~妻籠宿~南木曾駅(済) ・藪原駅~鳥居峠~奈良井宿(済)
- ・開田高原(R5 7/29 予定) ・須原宿(9/1 予定)

また、今年度からは会員の出身地6か所持ち回りで、懇親会を兼ねての打合せや活動、旅行等も計画しています。今後も健康に留意して皆で末永く活動をしていきたいと思っています。

(グループ長 篠原 長平)

編集後記

5月には新型コロナウイルスが感染法上の分類で5類移行となり、3年間に及ぶ自粛生活が元に戻りつつあります。しかし、電気・ガス・水道料金やガソリン、食料品、日用品等の物価高騰により日常生活がたいへん厳しくなっており、本当に大変な毎日です。

梅雨に入り、じめじめしたうっとうしい毎日が続きます。熱中症には気をつけてお過ごしください。新年度となり、新しい会員も増え、賛助会がよりよい会になることを期待して編集後記とします。

(会報担当幹事 古田 亮子)

